

白シャツ¥87,150、パンツ¥76,650(参考商品) / ともにDEREK LAM(ブランドニュース) バングル¥14,175、リング¥3,360 / ともにエヴィータ パローニ(デパッシュモード) ショートブーツ¥75,600 / ブルーマリ(ブルーマリ ジャパン)



もつと自由に柔軟に新しい挑戦をした、という思いが最近強い。目の前に扉がある限り、それを開け続けたいと思う

男役トップスターとして 伝説を作り続けた宝塚時代

「異端児、新人類、現代っ子。宝塚時代はいろんなふうと呼ばれたけど、新しい男役といわれたことがいちばんうれしかったですね」
京都の舞妓さんに歌手、バスガイドとたくさん夢を持っていた大地さんはいつしか芸能界に憧れるように。厳格な父親は大反対したが、清く、正しく、美しく、を校訓とし、

厳しい礼儀作法で有名な宝塚音楽学校なら許可した。
慌てて音楽やクラシックバレエをはじめたのは試験日のわずか3カ月前のことだった。

「宝塚のことはなにも知らないし観たこともなかった。だから音楽の先生に『今年はまだなんでもか見てもらいたい。来年が本番

かへんなの』っていうのが本音でした(笑) 当時は15歳。おしゃまな最年少は、先生や上級生から可愛がられた。規律と練習は厳しく過労で入院したこともあったが、そんなピンチもチャンスに変える運を持っていた。
「扁桃腺の手術でなぜか声質がよくなり苦手だった音楽の成績がアップ。それから練習がどんどん面白くなりました。初舞台では舞台に立てるうれしさから、ただ笑顔でライダンスを踊りました」

すると「端から○番目の子の名前が知りた」と劇団に問い合わせが殺到。大地真央伝説はデビュー時から始まっていた。
月組男役トップスターにのぼりつめたのは予科生から数え9年目のこと。目指したのは「玉塚つばきないトップスター」だった。
「男には見えなくちゃいけないけれどリアルや黒を使ったこともありました」
入団前から熱狂的な大地ファンで知られる真実みきさんははじめ、このアウトローな男役に憧れて入学した下級生は他にも数多い。
29歳夏、定例の紋付き袴ではなく純白タキシードに身を包み退団。最後の日まで伝説を残した。
「いろんな役をやったし挑戦もし続けた。もちろん終わりのない深い世界だし、宝塚が大好きだからこそ、あえて新しい扉を開ける選択をしました」

退団後2カ月間はNYでダンスレッスンをやっていた。12年5カ月の宝塚人生も、次の世界も大事だから、次なるステップに移れなかったし、冷却期間が必要だった」と話す。
そして帰国後すぐにオファーが殺到舞台映画やテレビにも興味を広げていると、また新たな人との出会いがあったりして。
たとえば情報番組組の「DON!」に準レギュラーとして出演したことで、司会の中山秀征さんや25歳の益若つばさちゃんが私の舞台を観に来てくださった。彼女は、お母さんでもあるから、くっつきっかきりしてるの。

大地真央さんの美人の素

大好きなネコに コラーゲン&耳栓 バラエティー豊かな美容法

「人って思わず笑顔になれるときがいちばん元気になれる美しいと思う。我が家の6匹のネコに囲まれているとき、気がついたらずっと笑っているんです。私」とニコリ。大地さんといえばいつまでもエイジレスな美しさが魅力! 「好きな食べ物コラーゲン! (笑) というだけあって、食生活やリラクゼーションにもこだわりを持って選んでいます。



「1日2回以上飲む白神山地の水は、朝はキンキンに冷やしてまず1杯。昼は常温、夜はさゆにして飲みます。さらに、ぶどう酢と豆乳を混ぜヨーグルト状にしたものを5、6種類のフルーツにかけて食べるのが毎朝の習慣」



「稽古場で集中力がなくなってきたり疲れたときはチョコレートとコーヒーが効果的です。ハワイのカハラヒルトンのマカデミアナッツ・チョコレートがマイブーム。前日までに予約しないと買えない貴重品なんですよ」



「深い眠りが大事。枕にはスリープのアロマオイルを垂らして、必ず耳栓(写真左)をします。主人とふたりで片耳だけ耳栓をして話したあと『じゃあ寝るね』って両耳に耳栓をしたらもうひとりの世界。すーっと眠りに入れます」

よ(笑) 「マイ・フェア・レディ」の舞臺に20年立ち、新劇の真骨頂「ヘッダ・ガブレル」の難役にも挑んだ。
それでも新しい扉はまだある。
「もつと自由に柔軟に新しい挑戦をしたいという思いが最近強いです。」

Work